

備前市在宅医療・介護連携推進協議会通信

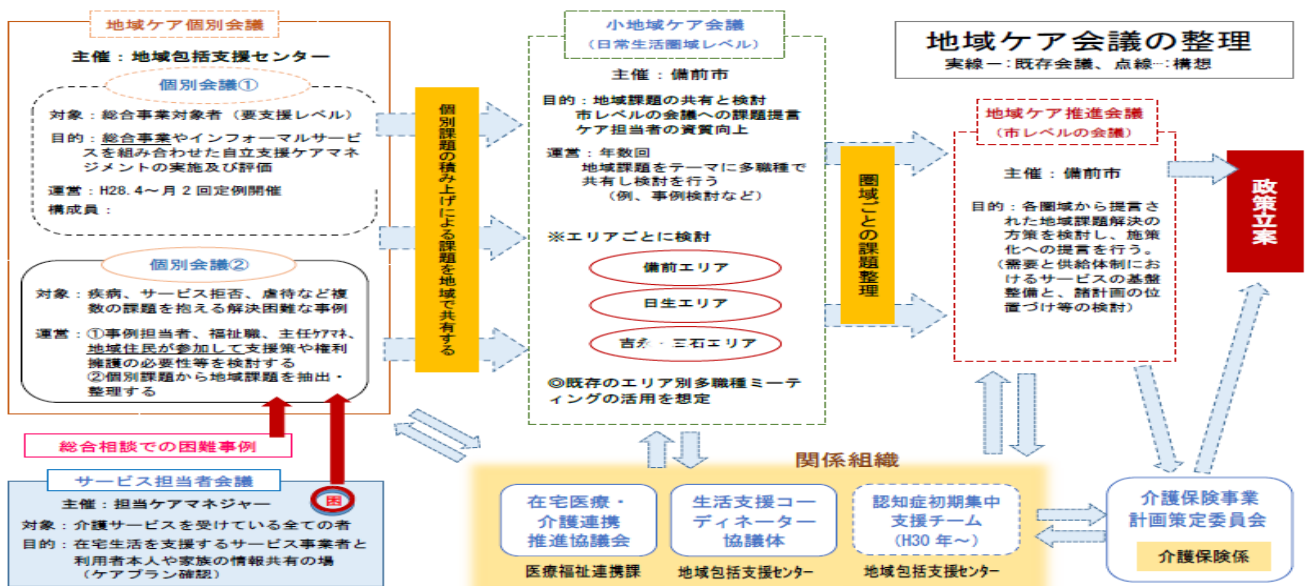
Vol.3 2016年12月

発行/編集：備前市保健福祉部医療福祉連携課

在宅医療・介護連携推進協議会の第3回目が開催されました。

12月6日(火)に第3回の会合が開かれました。第2回で提案された「地域課題を抽出し、施策化していく仕組みづくり」について協議を深め、地域包括ケア推進にあたっての『地域ケア会議』を有機的に位置づけることが話し合われました。また、現在の日常生活圏域は、南部と北部の2圏域ですが、在宅医療を基盤とした地域包括ケアを推進するためには、市内4病院を中心とした3圏域での医療と介護の連携システムづくりや、生活圏域ごとに協議の場となる小地域ケア会議の設置等が検討されました。

今後検討を重ね、既存組織の活用により、地域課題を施策へ反映するシステムとして機能させていきたいと考えています。(下図は、検討された地域ケア会議の整理図)



情報共有ツールの試験運用の報告

多職種でタイムリーに情報共有することは、チーム医療・チームケアを進めていく上で非常に重要なことです。これまで、医療ネットワーク岡山の「晴れやかネット」や、エーザイ株式会社の「ひかりワンチームSP」の説明会を開催し、ICTの導入について検討してきましたが、個人情報を含め多くの課題もあり継続協議となっていました。市からの要請で、9月より草加病院の系列グループ内で「晴れやかネット(ケアキャビネット)」を、10月より吉本医院を中心に「ひかりワンチームSP」の試験運用を行っています。途中経過として、訪問看護師による報告があり、どちらも従来の電話や紙面による連絡に比べ、時と場所を選ばずにチーム員が一堂に情報共有できるメリットはあるものの、入力の手間や多忙な医師の閲覧がネックとなることが話されました。また、所属する組織を超えての多職種による情報共有の拡大について提案がありました。

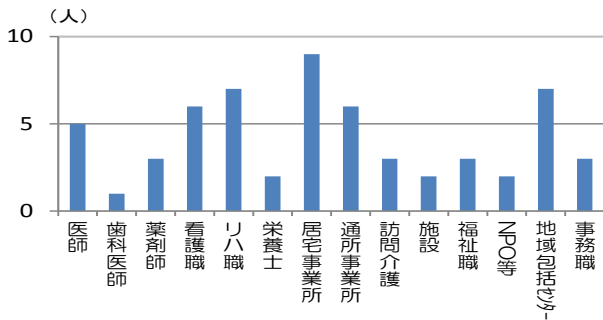


そこで、吉永病院でも晴れやかネット(ケアキャビネット)に参加し、組織を超えての情報共有の試験運用を行うことや、市からもタブレットの貸し出し等の環境整備を行うこととなりました。

今後、在宅医療を実施している診療所にも参加を呼びかけ職種や組織を超えてのタイムリーな情報共有ができるよう、多職種連携ツールとしてのICTの効果的活用について検討していきます。

🌻 多職種研修(多職種ミーティング♥東エリア)の報告

2回目の専門部会活動として、東エリアの多職種参加による交流会が日生防災センターで、11月30日(水)に開催されました。事例を通して「この人の生活課題をどうするか」を話しあい、職種による「視点の違い」やお互いの役割を再認識しました。また、本人や家族の望む生活を支援するために、この地域に不足する社会資源についても検討しました。まさに小地域ケア会議としての運営ができたのではないかと思います。



🌻 専門部会の設置について

在宅医療を基盤とした地域包括ケアを進めていくためには、市内4病院が相互の連携を図りつつ、地域の開業医との連携体制(在宅後方支援病院機能やレスパイトの受け入れ等)を充実させることなどが重要となります。(病診連携推進部会) また、ICTを活用した情報共有を進めていくためには、個人情報の取り扱いも含めた共有しておくべき連携ルールを作り運用することが望ましい(情報共有ツール検討部会)。

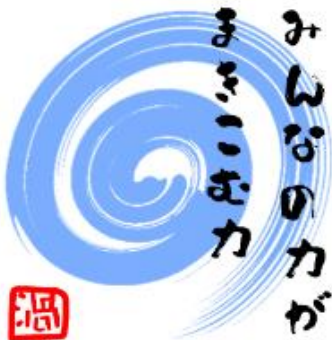
それらを勘案して、今後、協議会委員だけでなく、関係者を広く集めた専門部会を設置して、詳細を協議していく必要があるとの意見がありました。

<編集後記>

第2回に続いて、地域課題の検証を中心とした協議が熱心に行われました。住みなれた地域でいつまでも安心して暮らしていくためには、「医療」への期待の大きさがうかがわれます。

今後は専門部会でのさらなる検討が期待されます。

次回は、2月の開催を予定しています。



【事務局】

備前市保健福祉部医療福祉連携課
〒705-8602 備前市東片上 126
TEL: 0869-64-1875 FAX: 0869-63-4206
E-mail: bziryoudenkei@city.bizen.lg.jp